

しりーず

映画とひまわり

■ その1 ■

星守る犬と名寄

映画「星守る犬」ロケ地決定は昨年(2010)の3月、ロケ候補地を探していた東宝株式会社の竹山昌利氏の来名から始まります。竹山氏は十数カ所の候補地の中でロケは名寄と直感。4月には監督・カメラマン・美術・照明の映画界の重鎮がそろって来名。監督が、まだ雪が残るひまわり畑で、目を閉じ一面に咲き誇るひまわり畑をイメージしてみた。するとサンピラーパークの傾斜とひまわり、智恵文の一面のひまわりがイメージと一致。こうして名寄市がロケ地に決定したといえます。

かくして、映画のロケ地となった名寄市で8月から怒涛の撮影が始まりました。(広報なよろ5月号「映画とひまわり～その2～」につづく)

名寄とひまわり

名寄市のひまわり畑は、昭和62年にMOA自然農法名寄農場(現 微生物応用技術研究所名寄研究農場)が、智恵文の北山にひまわりを栽培したことに始まりました。その後、智恵文振興で栽培され、当時、単一カ所の面積としては日本一の規模を誇っていました。

現在は、道立サンピラーパークひまわり畑、微生物応用技術研究所名寄研究農場のひまわり畑・智恵文東雲峠ひまわり畑が中心となり、さらには、ひまわり油用のひまわりが栽培され、市内各所で多くのひまわりが咲き誇っています。

ひまわりとまちづくり

映画「星守る犬」の東宝系公開日が2011年6月11日に決定しました。今年、映画を見た全国の人びとが、名寄のひまわり畑を鑑賞するための来名が期待されます。この映画の上映は全国に名寄市をPRできる絶好の機会となることから、名寄市は関係機関とともに「ひまわりのまちなよろ実行委員会」を立ち上げ、「ひまわりのまちプロジェクト」を進めています。

「名寄市＝ひまわり」「ひまわり＝名寄市」「どこに行ってもひまわりを見ることが出来るまち」をコンセプトに、ひまわりによる観光振興・まちづくりを進めています。

プロジェクトの一つとして、訪れる方をひまわりでお迎えするために市民、団体でひまわりの植栽に協力していただきたく、ひまわりの種の無料配布を行います。(詳細はひまわりのまち実行委員会制作の別紙チラシをご覧ください)市民の皆さんも、ひまわりによるまちづくりに、ご参加・ご協力いただけますようお願いいたします。

経済部